

## 2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

|      |              |      |    |
|------|--------------|------|----|
| 所 属  | 社会学部         | 社会福祉 | 学科 |
| 担当科目 | ファーストイヤーセミナー |      |    |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

仕事内容は、大クラスでは先生方の指示に従って配布物を配ったりしますが、基本的には一回生と一緒に授業を受けている感じです。ときどきコメントもします。小クラスでは、だいたい先生の補助で、個人プレゼンの回ではレジュメを配布したり、プレゼンごとに最後にコメントをしたりしました。それ以外は、大クラス同様、一緒に授業を聞いていることが多かったです。気づいたこと・感想としては、二つあります。一つは、個人プレゼンでテーマを割り振られたものをみんなきっちり用意してきてしっかりしたプレゼンをしていてすごいなあということです。まだ1回生のこの時期では、プレゼンに慣れていない人も多いでしょう。10～15分間もつようなプレゼン、と言われても、どれくらい喋ればそれくらいになるのか、つかみきれなかったはずですが、4回生の私だと、もういい加減何でもプレゼンしているので「こんなもんだろう」と感覚的にわかりますが、1回生ではそうはいかないでしょう。最初の時期なのにみんな上手なプレゼンでしたが、これからも何度もプレゼンをする機会はあると思うので、回数をこなして感覚をつかんでほしいなあと思いました。二つ目は、個人プレゼンの形式をとると仕方がないことではありますが、聞く側の学生がどうしても気を抜いてしまうことが多ことです。プレゼンターが担当のテーマについて発表して、先生が聞いている学生に意見や質問を求めても、あまり反応はないまま先生が色々な補足説明をしてくださる、ということが多かったように思います。だからといって私もどうしたらいいかわかりませんが、せっかく1限から来ているのに勿体ないなあと思っていました。たとえ形式をグループディスカッションにしても、話し合いが弾まないときは弾まないものなので、こればかりは難しいことです。でも、そんな1回生と半年に渡って一緒に授業を受ける機会に恵まれて、私自身もさまざまな気づきが得られたので、よかったなあと思っています。

<今後のチューターまたは先生への提案>

チューターについてですが、小クラスになるときに、どんな流れで授業を進めてどんな風に授業内で働きかければいいのか、事前に具体的に担当の先生に聞いておく方がいいと思います。最初の方で、何をしたらいいのか戸惑うことがあるので。

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

|      |              |      |    |
|------|--------------|------|----|
| 所 属  | 社会学部         | 社会福祉 | 学科 |
| 担当科目 | ファーストイヤーセミナー |      |    |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

・ 仕事内容について

永田祐小クラスでは、3 グループに分けた各グループが発表に向けてディスカッションなどの発表準備に取り掛かっているところをに教員、TA、チューターが適宜加わり、助言等のアドバイスをして回ることが主な活動でした。

また学期後半の全体クラスでは、これまで3年間の大学生活についてをテーマにチューターによるプレゼンの機会をいただきました。

・ 気付いたこと、感想など

小クラス講義についてです。3つに分けたグループをだいたい満遍なく回りながらそれぞれの準備をサポートする、という活動をする中で感じたのは、チューターがいることによって学生が必要以上にプレッシャーを感じているのではないか、という点です。もちろんこれは私個人の考えで、実際に学生がそう感じたかは不明です。私がこのように感じたのは、とくに作業が滞り気味だったグループに関わっているときでした。作業が滞っているときというのはだいたい傍から見てもわかりますし、私も当然そのグループに関わっていきます。しかしながら私自身、あまり彼らの力になれず話が進まないようになると、本人たちにとってはそうやって順調に行っていない姿を教員などの評価者に見られるのは苦痛だと私は感じます。

もちろんこれはうまくいかない流れで起こり得る可能性の一つであり、そういった状況であれば直接教員が関わることで、彼らの感じるプレッシャーも和らげられるでしょう。しかし実際関わる中で、チューターの立場、立ち位置はどのあたりか考えさせられました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

チューター全員と教員何名かで集まり、振り返る機会を時間を開くことが出来れば、お互いに生のフィードバックを共有できるかと思います。チューター同士での振り返りも重要ですが、それを今後生かすには何よりそこへ教員に入っていただくことが望ましいと思います。また教員の方同士での振り返り等も行っているとは思いますが、可能であればそういった教員の方が感じたこと、思いなども知る機会があればと思います。

## 2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

|      |              |      |    |
|------|--------------|------|----|
| 所 属  | 社会学部         | 社会福祉 | 学科 |
| 担当科目 | ファーストイヤーセミナー |      |    |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

### 【春学期まとめ】

春学期では、新入生に対して、社会福祉学科の雰囲気、大学授業への慣れを促すカリキュラムが進められた。主な内容としては「個人発表」、「グループ発表」、「グループディスカッション」を軸に行い、一回生の授業への積極的参加への促しが行われた。

### 【仕事内容】

TAとしての主な仕事は、授業中に講師と生徒の間に入り、質問しやすい環境を提供し、授業内容に関する質問に答えられる範囲で答え、生徒の積極的な授業への参加の手伝いであった。

### 【気づいたこと】

一回生の授業に対する興味関心は人それぞれであるが、私が受け持ったクラスはどちらかと言えば興味関心は強い傾向があった。それでも、福祉に対しては漠然とした内容しかわからないので戸惑っている生徒もいた。

### 【感想】

今回、TAとして後輩と関わったり、授業に参加したことは初めての経験であり貴重な体験であった。TAで参加することで、過去の自分を振り返る事ができ、今の自分と比較してどこが変化したのかを自分なりに分析できた気がした。これから、卒論作成や実習に参加するにあたってこうした経験は意味のあるものとして活用していきたい。また、講師側に近い立場で授業に参加したことで授業構成の難しさや生徒に理想的な授業参加への誘導の難しさを学ぶことができた。さらに、一回生と新しい人間関係を築くことができたし、担当になった先生とも有意義な話をする事ができたのは自分にとって価値ある春学期になった。夏休みがあげて秋学期にはまたTAとして参加するので、春学期の反省を踏まえて、より先生の力になれるように頑張っていきたい。

<今後のチューターまたは先生への提案>

チューターはとにかく自分が何ができるのかが明確でなく、毎回、担当の先生と相談しながら授業に参加していく事が多かった。それ自体は特に問題はないと思うが、より新入生が福祉の授業に興味関心を持つためにはチューターにもある程度の役割が仕事内容としてはっきりと認識できればいいと思った。

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

|      |              |      |    |
|------|--------------|------|----|
| 所 属  | 社会学部         | 社会福祉 | 学科 |
| 担当科目 | ファーストイヤーセミナー |      |    |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

春学期を振り返って思ったことは、このファーストイヤーセミナーを自分自身も授業を受けているかのように、勉強になったと思う。全体クラスでの、各先生方のお話やレポートの書き方についても、小クラスでの取り上げられた新聞記事の内容についても、知らないことが多く、勉強になった。

小クラスでは、臓器移植や核問題、児童虐待などの様々な問題が取り上げられたわけであるが、改めて理解したことが多く、社会福祉を学んできたうえで、自分がいかに興味ある分野しか勉強してこなかったかを実感させられた。反対に、1 回生のレジュメや発表内容を聞いていると、自分が 1 回生の時と重ね合わせ、レジュメの作り方や発表のやり方などは、4 回生になって自分自身 1 回生の時より少しは成長できているのではないかと思うこともできた。

4 回生チューターによる、大学生活を振り返って、1 回生に伝えたいことの発表では、発表の準備の段階で、大学生活を振り返ることができて良かった。発表という目的があって、期限があったことによって、普段そこまで考えることのない、今までの大学生活について考えることができて良かった。

自分が 1 回生の時にはチューター制度が無かったので、1 回生にとって、チューターがいることがどれだけのメリットがあるのかは正直よく分からない。けれど、自分自身は春学期このチューター制度をやって良かったと思っている。授業を通して、新たに学べることや、気づくことも多く、発表などで達成感も得られることができるからである。同じ学科のチューター仲間がいるのも、お互いに感想を言い合ったりして、モチベーションのアップにつながっていると思う。

1 回生側の意見は分からないが、4 回生側にとっては、様々なことを経験でき、それらについて考えることもでき、有意義な制度だと思う。秋学期も、1 回生のためにも、自分のためにもなるように頑張ろうと思う。

<今後のチューターまたは先生への提案>

特にありませんが、全体クラスの授業の時、座っていて、少し感想などを言ったりするだけで、チューターとしてこれだけでいいのかなと少し思います。

## 2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

|      |              |      |    |
|------|--------------|------|----|
| 所 属  | 社会学部         | 社会福祉 | 学科 |
| 担当科目 | ファーストイヤーセミナー |      |    |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

春学期はゴールデンウィーク明けの5月11日からチューターとして、1回生のファーストイヤーセミナーの授業に参加しました。

大クラスの授業では、初回の授業で自己紹介をして、1回生と一緒に先生の講義などを聞かせていただきました。小クラスでは、私は佐分先生のクラスに参加しました。今学期は、1回生のメンバーが順番に、“福祉に関連する新聞を見つけてきてそれに関する発表”をする授業でした。私はそこで、司会進行と、最後に一言コメントを言わせていただき1回生とともに授業に参加しました。7月20日にはチューター企画として、「4年間を振り返って—1回生に伝えたいこと—」と題して、自分の4年間の学生生活とそこから1回生に伝えたいことについて発表しました。

チューターとして1回生の授業に参加し始めたころは、私自身がとても緊張して、4回生としてどのような立場でこの授業に参加すればいいのか、1回生とも違いまだ先生とも違うチューターという立場にとっても戸惑いました。また1回生の方にも、大学生活が始まって仲良くなった友人とは別々のクラスに振り分けられて、ほぼ初めて関わるクラスのメンバー、先生、4回生のチューターにどうやって関わっていこうかとなんとも言えない緊張感が漂っていたなと今振り返ると思います。

最初のころは1回生の発表にも、発表者に対するみんなからのコメントやフィードバックにも、緊張しているのだな、何を言おうか悩んでいるのだなという感じが伝わってきました。私は、司会者として、1人1人の話にきちんと耳を傾け、うなずくなど“どんな意見を言っても大丈夫なのだ”と1回生に思ってもらえるような雰囲気作りに努めました。授業の雰囲気は回数を重ねるごとに、ガチガチに緊張した状態から、徐々に柔らかい雰囲気へと変化していきました。1回生の発表も個性がたくさん出ていて、メンバーからのフィードバックもたくさん、いろんな意見が出るようになっていきました。先生の柔らかく受容的な雰囲気と、クラスの中にも自然と他のメンバーの考え方に受容的な雰囲気が出ていったことで1回生の中にも、“どんな意見でも大丈夫”という安心感があつたように思います。授業後も、始めは授業が終わるとさっと教室から出て行っていた1回生も、学期後半になると「さようなら」「お疲れ様です」と声をかけてくれたり、二言三言、先生や私と会話をして帰っていったり、メンバー同士で言葉を交わしていたりとクラス全体の距離感がよそよそしいものから、徐々に近くなっていったなということを感じました。

チューター企画では、自分の4年間について何を話したらいいかととても戸惑いました。しかし、授業後に1回生のコメントカードを見せていただき、“不安が解消された”“大学生活のイメージが浮かんた”といった1回生のコメントを見て、少しでも1回生の学生生活の不安への解消や、学生生活のイメージに役にたったのなら良かったなと感じました。

春学期は、チューターにとっても1回生との関係づくりの時間だったかなと思います。秋学期もこの関係をもっと深めていき、1回生の良き相談相手となれば良いなと思います。

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

|      |              |      |    |
|------|--------------|------|----|
| 所 属  | 社会学部         | 社会福祉 | 学科 |
| 担当科目 | ファーストイヤーセミナー |      |    |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

[仕事内容]

小クラスでは、個人発表の後に少しディスカッションを行いながら進行していく中で、1回生のディスカッションが終わってからチューターがコメントを行い先生が最後をまとめるという流れで授業を行いました。またチューター企画や小クラスのなかで「私の学生生活を振り返って」1年生が4年間の学生生活を有意義に過ごせるように、私の大学生活の体験談やアドバイスなどお話をさせていただきました。大クラスでは資料配付や1回生の様子を窺いながら授業補助をしました。そして、毎回授業終了ごとにその日の授業内容・気づきを行い活動報告を行った。

[気づいたこと・感想]

1回生の様子を見ていると、毎週会うたびに顔がいきいきしてきているのがわかりとても楽しかった。初回の授業では大学生活にまだ慣れず不安なことがいっぱいの様子であったが、先生からのアドバイスを受けたり、1回生の方から直接チューターに話をしに来てくれることもあり1回生が安心する顔を見ることができるととても嬉しかった。また授業が1限であることから初めのうちは遅刻者や欠席者が多く出席者が減っていく一方ではないかと不安であったが、だんだんと全員がそろそろようになってきてその不安もなくなり、授業を行うことができたのでとてもよかった。

私が1回生の時に4回生と関わる授業がなかったので私に何ができるのだろうかと思ってはじめていたが、実際に授業にでて1回生と関わってみるとたくさんのことを質問してくれてとても嬉しかった。私たちの学年ではなかった分、サークルや部活に入らなかった私は1回生の1年間ずっと不安を抱えながら過ごし、大変だったがFYSなど必修の授業で上回生と関われる事ができたらもっと有意義に1回生の時から楽しく過ごせたのではないかと思えた。実際に春学期チューターをしてみてもチューターの役割はとても大切だと感じる事ができ、またもっと1回生の役に立てるように頑張りたいと思って活動することができた。

<今後のチューターまたは先生への提案>

チューターの紹介の際に仕事内容をもう少し詳しく教えていただきたかったです。チューター企画で全体クラスでの発表があると聞いていなかったのもとても驚きました。

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

|      |              |      |    |
|------|--------------|------|----|
| 所 属  | 社会学部         | 社会福祉 | 学科 |
| 担当科目 | ファーストイヤーセミナー |      |    |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

●仕事内容

- ・授業への参加
- ・プリント配布
- ・授業中の意見発表
- ・4 回生シンポジウム発表
- ・チューター業務 PC 打ち込み 等

●感想

初めてチューターというお仕事をさせていただいた。火曜日の 1 時間目という時間でしんどい日もあったが、とてもよい経験になったように思う。4 年前の自分たちを思い出すようだった。

私は武田先生のクラスにてチューターをさせていただいた。武田先生はとても熱心に 1 回生の指導をされていた。2 回目の小クラスから 2 人ずつ発表し、最後の小クラスには全員が 1 回は発表できるようにスケジュールを組んだ。何もかもが初めての 1 回生には大変だった課題でもあったかもしれないが、それぞれが一生懸命自分の興味のある分野について調べてきて発表していた。1 回生の発表内容は、大まかに分けると障害・高齢者・児童・貧困・医療など多岐に及んだ。毎回の授業が、私が 4 年間先生方から習ってきたことと関連していてとても興味深かった。基礎的な部分の発表をしてくれる 1 回生が多いので国試のための振り返りにもなった。私は普段福祉漬けの生活をしていて、ある意味固定観念のようなものができていた。しかし、まだ社会福祉学科に入り学びたての 1 回生の意見は福祉から見た視点の意見だけが出てくるわけではなかったもので、とても新鮮で視野が広がったように感じた。

小クラスの授業は、1 人の発表に対してディスカッション形式で進められた。最初のディスカッションはなかなか意見が出ず、滞ってしまうことのほうが多かったのだが、春学期も後半に入るとだんだん自分の意見を自発的には言える人が増えてきた。意見のキャッチボールが少しずつできるようになったのが春学期チューターをさせていただいて 1 回生を見てきた中で一番大きな変化だったように感じる。その意見も互いの発表を聞くなかで広がってきていたと思う。一人一人の関心テーマが奥の深いものだったので 45 分では足りなくなることが多かった。

<今後のチューターまたは先生への提案>

春学期、いきなり発表をしてもらうのは発表方法の情報 1 回生に少ないので、お手本があればよかったかと思いました。